



### 捨てられた 犬や猫に思うこと

ダンボール箱や肥料袋で捨てられている子犬や子猫、首輪やリードがついているのに飼い主が迎えに来ない捨て犬。こんな犬や猫を收容するたびに「またひとつの命を奪ってしまうのか、彼らが役場の捕獲箱やドッグセンターでどんな眼をしているのか、どんな最期を迎えるのか考えたことがあるのか」と、名前も顔も知らない飼い主に怒りをぶつけずにいられません。また、安易に犬や猫を捨てる人たちは行政が新しい飼い主を探してくれるものと誤解しているのではないかと考えてしまいます。

捕獲された犬や猫の大半が処分されている事実は、あまり触れたくない部分ではありますが、事実を伝えることで、新たな捨て犬、捨て猫を防ぐことができたらと願っています。そして、大切な「家族」がいなくなってしまった場合は、役場や動物愛護指導センターにご連絡ください。保護されてあなたのお迎えを待っているかもしれません。

環境対策課環境対策室  
【☎028 (677) 6041】



▲塩田さん夫妻とラブ

ラブラドルレトリバーのラブが塩田紀一さん宅(下延生)の家族に加わって4年目になります。とても温厚な性格で、塩田さん家族をいやしてくれる大切な存在です。「犬から教えられることが多い」と話す塩田さん夫妻。休日にはラブと一緒にドライブするのが楽しみです。

### わか家の家族を 紹介します

バグのパンチはお店の看板犬です。植木和男さん宅(西高橋)では、長い間犬を飼っています。初めて飼った犬は15年間生きた後、老衰で息を引き取るまで自宅で世話をしたそうです。次に飼ったバグのパンチは交通事故で亡くなってしまい、現在は2代目パンチが家族の一員だそうです。植木さんは「犬は子どもと同じ存在。犬がいない生活は考えられない」と話していました。



▲植木さんとパンチ

### 避妊・去勢手術について獣医さんに聞きました



廣田尚享先生

現在、一般的に行われている不妊のための処置は、メスの場合卵巣と子宮、オスの場合精巣の摘出です。一度処置をすると子供を作ることはできなくなります。よく考えてから受けてください。一時的にホルモン剤などで発情を抑えることができますが、あまり一般的ではありません。

#### 手術をすると

- 子犬、子猫が生まれなくなる  
複数の動物を飼うには、愛情、環境、経済的な面でかなりの覚悟が必要です。責任を持って飼うことができない場合は不妊手術を受けましょう。
- ホルモン系の病気を予防し、長生きする  
メスは卵巣腫瘍、子宮蓄膿症、乳腺腫瘍

など。オスは肛門周囲腺腫、会陰ヘルニア、前立腺がん、精巣腫瘍などが予防できません。手術を受けると元気がなくなり、寿命が短くなると考える人もいますが、それは違います。

- 発情がなくなる  
メスは発情に伴う出血や、オスが寄ってくるなど。オスは脱走、外で喧嘩するなどの問題がなくなります。無差別な交尾は致死性の高い伝染病(猫のエイズなど)に感染する危険があります。
- 精神的に安定する  
特にオスの攻撃性がなくなり、しつけがしやすくなります。メスは発情時のイライラした気持ちがなくなります。

- 気をつけること
- 肥満  
カロリー摂取量に注意してください。

▲ひろた動物病院【☎028 (687) 2211】

### 動物を飼える環境である



ペットの飼育が禁止されているアパートやマンションに住んでいる人はいませんか。ペットが快適に過ごすことができない環境がありますか。

### 最期まで飼う



ペットの一生に飼いが責任を持つことになりません。病気などをして、終生飼育を続ける覚悟が必要です。

### 経済的な余裕がある



扶養家族が一人増えることになります。また、病気の時にはある程度の出費を覚悟しなければなりません。

### ペットを飼うことに家族が同意している



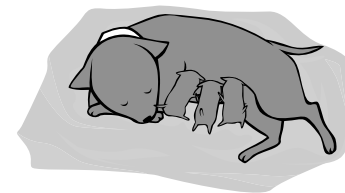
家族が一人増えることになります。2〜3歳の人間の子どもを引き取るのと同じようなものです。家族全員の協力と忍耐が必要です。

### 周囲に迷惑をかけずに飼うことができる



迷惑をかけないためのマナーの習得、最低限のしつけをする必要があります。放し飼いをしない、むだ吠えさせない、散歩時のフンの始末、悪臭・病害虫の発生を防ぐなどは飼い主の責任です。また、犬の登録や狂犬病の注射は法律で義務付けられています。

### 避妊・去勢手術をする

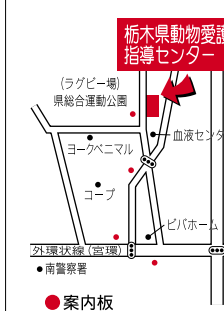


飼い主に、ペットの子どもの面倒までみる余裕がないなど、複数飼育が不可能な場合は、望まれない不幸な命を生まないためにも手術を施してください。

### 栃県 動物愛護指導センター



栃県動物愛護指導センターは、県民に動物愛護の精神を普及する目的でつくられました。この施設では、展示物や図書などにより動物の習性や飼育方法についての学習ができるようになっています。このほか、動物ふれあい教室、犬のしつけ教室などの事業や、動物に直接触れ合うことができるさまざまなイベントを行っています。



栃県動物愛護指導センター  
宇都宮市今宮4-1-7-8  
【☎028 (684) 5458】

●利用時間  
9時30分〜16時  
●休館日  
月曜日、休日、祝日  
※料金無料



▲愛護指導センターの子犬

もに、正しい犬の飼い方を普及する目的で行われています。譲渡に際しては、責任を持って飼育してもらうために、誓約書にサインするほか、数回のしつけ方教室への参加が義務付けられています。真剣に犬を飼いたいと考えている人は参考にしてはいかがでしょうか。